

令和元年度社会福祉法人白日会事業報告

I 法人本部

1 ガバナンス（組織統治）の整備

社会福祉法人には法人経営の透明性の確保や高い公益性に基づくガバナンス（組織統治）の確立が要請されており、社会的ルールを遵守し、社会に対して十分な説明責任を果たすため、公正かつ適正な経営を可能とするガバナンスの整備の一環として、次の取組を行いました。

- ① 本部事業である公益的取組「生計困難者レスキュー事業」の実施に伴い「社会福祉法人白日会生計困難者に対する相談支援事業実施規程」を制定
- ② 福祉人材の育成・確保を目的として、法人の職員以外の学生への修学資金の提供に関する「社会福祉法人白日会奨学金貸与規程」を制定
- ③ 理事長の専決事項に、人材の確保及び災害等緊急を要する場合の業務の適切かつ円滑な執行を図るため、「社会福祉法人白日会理事会運営規程」を改正
- ④ サービス区分に「社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業」、その他の固定資産に「積立資産」、その他「勘定科目」の整備を行うため、「社会福祉法人白日会経理規程」を改正

2 役員・評議員等の選任

① 理事の選任

令和元年6月19日、定時評議員会において次のとおり選任されました。

再任：荒木美智子、荒木邦生、高川志津、山下八郎、中田雄士

新任：諸家洋子（那須宅巳氏の後任）

② 正副理事長の選定

令和元年6月19日、第2回通常理事会において次のとおり選定されました。

理事長：荒木美智子

副理事長：荒木邦生

③ 監事の選任

令和元年6月19日、定時評議員会において次のとおり選任されました。

再任：渡邊暎也、服部法義

3 理事会承認による定年延長

次の者の定年を令和4年3月31日まで延長しました。

たんぼぼ保育園：（施設長）中園静子、（副施設長）荒木美智子

照古苑：（施設長）中田雄士

4 社会福祉法人白日会の財産状況

別冊 財産目録及び決算報告書のとおり

5 事業

（1）地域における公益的取組

① 生計困難者レスキュー事業

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数	16件	19件	—	—	—
支援件数	13件	16件	—	—	—
支援総額	108,681円	161,184円	—	—	—
対象者	10代	1人	—	—	—
	20代	—	—	—	—
	30代	1人	2人	—	—
	40代	2人	7人	—	—
	50代	6人	3人	—	—
	60代	4人	4人	—	—
	70代	1人	1人	—	—
	80代	1人	2人	—	—

② 認知症カフェ（通称：ひまわりカフェ）

毎月第3木曜日午後2時～午後4時

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催回数	12回	10回	—	—	—
利用者数	175人	137人	—	—	—
備考		台風により8月中止 新型コロナウイルス感染防止により3月中止			

③ 地域の学習教室

利用する小中学生の希望者がありませんでした。

④ 成年後見人の活動支援及び人材養成

佐賀県で行われました「成年後見人育成研修」に宇土市包括支援センターの職員1名を派遣しました。

(2) 監事による監査の実施

日時：令和元年5月20日（金）10:00～

場所：照古苑応接室

(3) 理事会

すべての議案及び報告事項は承認されました。

第1回通常理事会

日時：令和元年6月4日（火曜日）18時00分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

議案

- 第1号議案 平成30年度社会福祉法人白日会事業報告について
第2号議案 平成30年度社会福祉法人白日会の決算に係る計算書類等の承認について
第3号議案 社会福祉法人白日会生計困難者に対する相談支援事業実施規程の制定について
- 第4号議案 社会福祉法人白日会奨学金貸与規程の制定について
第5号議案 社会福祉法人白日会理事会運営規程の一部改正について
第6号議案 社会福祉法人白日会経理規程の一部改正について
第7号議案 元号改定に伴う当年度の予算及び事業計画の名称表記について
第8号議案 令和元年度照古苑拠点区分第1次資金収支補正予算について
第9号議案 令和元年度ひまわりホーム拠点区分第1次資金収支補正予算について
第10号議案 照古苑社宅管理規程の制定について
第11号議案 照古苑ひまわりホーム就業規則の一部改正について
第12号議案 照古苑給与規則等の一部改正について
第13号議案 たんぽぽ保育園運営規程の一部改正について
第14号議案 たんぽぽ保育園就業規則等の一部改正について
第15号議案 たんぽぽ保育園給与等支給規則の一部改正について
第16号議案～第21号議案 理事候補者の同意について
第22号議案～第23号議案 監事候補者の同意について
第24号議案 定時評議員会の招集等について

報告事項

- 報告第1号 理事長の職務の執行状況の報告について
報告第2号 理事長専決事項の報告について
報告第3号 平成30年度資金運用状況の報告について
報告第4号 予備費の使用について

第2回通常理事会

日時：令和元年6月4日（火曜日）18時00分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

議案

- 第1号議案 理事長の選定について
第2号議案 副理事長の選定について

第3回通常理事会（決議の省略による）

理事会の決議があったものとみなされた日：令和元年年9月2日

議案

- 第1号議案 令和元年度照古苑拠点区分第2次資金収支補正予算について
第2号議案 令和元年度ひまわりホーム拠点区分第2次資金収支補正予算について
第3号議案 令和元年度たんぽぽ拠点区分第1次資金収支補正予算について
第4号議案 令和元年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算について
第5号議案 宇土市地域包括支援センター介護予防ケアマネジメント業務支援システム導

入に係る契約締結方法等について

第6号議案 パソコン購入に係る契約締結方法等について

第7号議案 評議員会の決議の目的である事項（議案）の提案等について

第4回通常理事会

日時：令和元年12月4日（水曜日）18時00分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

議案

第1号議案 照古苑就業規則等の一部改正について

第2号議案 照古苑給与規則の一部改正について

第3号議案 宇土市地域包括支援センター運営規程等の一部改正について

第4号議案 照古苑過半数代表者選出等に関する規程の制定について

第5号議案 満期保有目的の債券の売却について

第6号議案 令和元年度照古苑拠点区分第3次資金収支補正予算について

第7号議案 令和元年度ひまわりホーム拠点区分第3次資金収支補正予算について

第8号議案 令和元年度たんぼぼ拠点区分第2次資金収支補正予算について

第9号議案 第2回臨時評議員会の招集等について

報告事項

報告第1号 理事長の職務の執行状況の報告について

報告第2号 理事長専決事項の報告について

報告第3号 照古苑介護業務支援システム導入に係る契約締結の報告について

報告第4号 宇土市地域包括支援センター介護予防ケアマネジメント業務支援システム導入に係る契約締結の報告について

報告第5号 パソコン購入に係る契約締結の報告について

報告第6号 苦情解決事案の報告について

第5回通常理事会

日時：令和2年3月9日（月曜日）18時00分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

議案

第1号議案 令和元年度法人本部拠点区分第2次資金収支補正予算について

第2号議案 令和元年度照古苑拠点区分第4次資金収支補正予算について

第3号議案 令和元年度ひまわりホーム拠点区分第4次資金収支補正予算について

第4号議案 令和元年度たんぼぼ拠点区分第3次資金収支補正予算について

第5号議案 令和2年度社会福祉法人白日会事業計画について

第6号議案 令和2年度法人本部拠点区分資金収支予算について

第7号議案 令和2年度照古苑拠点区分資金収支予算について

第8号議案 令和2年度ひまわり拠点区分資金収支予算について

第9号議案 令和2年度たんぼぼ拠点区分資金収支予算について

第10号議案 令和2年度社会福祉法人白日会資金運用計画について

- 第11号議案 照古苑組織規則の一部改正について
- 第12号議案 照古苑デイサービスセンター運営規程等の一部改正について
- 第13号議案 たんぽぽ保育園施設長（園長）の定年延長について
- 第14号議案 たんぽぽ保育園副施設長（副園長）の定年延長について
- 第15号議案 特別養護老人ホーム施設長（苑長）の定年延長について
- 第16号議案 第3回臨時評議員会の招集等について

報告事項

- 報告第1号 予備費使用の報告について

(4) 評議員会

すべての議案は承認されました。

定時評議員会

日時：令和元年6月19日（水曜日）16時30分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

議案

- 第1号議案 平成30年度社会福祉法人白日会事業報告について
- 第2号議案 平成30年度社会福祉法人白日会の決算に係る計算書類等の承認について
- 第3号議案 平成31年度照古苑拠点区分第1次資金収支補正予算について
- 第4号議案 平成31年度ひまわりホーム拠点区分第1次資金収支補正予算について
- 第5号議案～第10号議案 理事の選任について
- 第11号議案～第12号議案 監事の選任について

第1回臨時評議員会（決議の省略）

決議があったものとみなされた日：令和元年9月3日

議案

- 第1号議案 令和元年度照古苑拠点区分第2次資金収支補正予算について
- 第2号議案 令和元年度ひまわりホーム拠点区分第2次資金収支補正予算について
- 第3号議案 令和元年度たんぽぽ拠点区分第1次資金収支補正予算について
- 第4号議案 令和元年度法人本部拠点区分第1次資金収支補正予算について

第2回臨時評議員会

日時：令和元年12月13日（金曜日）15時00分～

場所：特別養護老人ホーム照古苑会議室

議案

- 第1号議案 令和元年度照古苑拠点区分第3次資金収支補正予算について
- 第2号議案 令和元年度ひまわりホーム拠点区分第3次資金収支補正予算について
- 第3号議案 令和元年度たんぽぽ拠点区分第2次資金収支補正予算について
- 第4号議案 社会福祉法人白日会奨学金貸与規程の制定について
- 第5号議案 社会福祉法人白日会役員等に対する報酬等に関する規程の一部改正について

第3回臨時評議員会（決議の省略）

決議があったものとみなされた日：令和2年3月19日

議案

- 第1号議案 令和元年度法人本部拠点区分第2次資金収支補正予算について
- 第2号議案 令和元年度照古苑拠点区分第4次資金収支補正予算について
- 第3号議案 令和元年度ひまわりホーム拠点区分第4次資金収支補正予算について
- 第4号議案 令和元年度たんぼぼ拠点区分第3次資金収支補正予算について
- 第5号議案 令和2年度社会福祉法人白日会事業計画について
- 第6号議案 令和2年度法人本部拠点区分資金収支予算について
- 第7号議案 令和2年度照古苑拠点区分資金収支予算について
- 第8号議案 令和2年度ひまわり拠点区分資金収支予算について
- 第9号議案 令和2年度たんぼぼ拠点区分資金収支予算について

II 照古苑事業報告

1 重点課題

(1) サービスの質の向上

① 委員会活動

委員会名	構成人数	開催回数
感染管理委員会	9名	12回
安全対策委員会	11名	11回
身体拘束の廃止を検討する委員会	11名	11回
褥瘡(シヨクソウ)委員会	7名	8回
看取り検討委員会	6名	8回
照古苑祭実行委員会	19名	10回

② 研修実績

ア 職場内研修

i 時間外研修

期日	研修名	人数	備考
5月29日	食中毒予防について	93	全職員対象
6月26日	虐待防止について	85	全職員対象
9月18日	① 安全対策研修～リスクの管理・予防策を 考える～ ② 身体拘束の適正化のための研修	94	全職員対象
11月27日	感染症予防研修	98	介護職員対象

ii 時間内研修

期日	研修名	人数	備考
5月8日	人事評価研修（前期）	13	副主任、主任
5月10日	人事評価研修（前期）	12	副主任、主任
10月15日	人事評価研修（後期）	16	副主任以上
10月21日	人事評価研修（後期）	16	副主任以上
10月23日	人事評価研修（後期）	16	副主任以上

イ 外部派遣研修

期日	研修名	人数	主催
4月22日	社会福祉法人制度改革事務担当者 フォローアップセミナー	1	全国経営者協議会
5月10日	宇城圏域看護管理者業務検討会(看護職員継続教育検討会)	1	熊本県宇城保健所
5月17日	福祉用具展示会	2	ケアパーク
5月20日	熊本県社会福祉法人経営者協議会	1	熊本県社会福祉協議会
5月23日	熊本県老人福祉施設協議会 第1回総会	2	熊本県老人福祉施設協議会
5月23日	債券基礎勉強会	1	野村証券株式会社熊本支店
5月28日	新規学校卒業者を対象とする求人説明会	1	宇城公共職業安定所
5月30日	熊本県高齢者権利擁護（市町村管理者及び担当者向け）基礎研修会	1	熊本県健康福祉部長寿社会局
5月31日	婦人部理事会	1	宇医婦人部
6月1日	熊本高齢者の抑制を考える会第1回研修会	2	熊本高齢者の抑制を考える会
6月6、7日	甲種防火管理新規講習会	1	宇城広域連合消防本部
6月13日	安全管理講習会	1	熊本労働基準監督署
6月18日	宇城・宇土管内レスキュー事業実施法人定例会議	1	清香園
6月19日	介護サービス事業者等集団指導	4	熊本県高齢者支援課
6月20日	介護サービス事業者等集団指導	3	熊本県高齢者支援課
6月21日	社会福祉施設等指導監査説明会	1	熊本県
7月1日	介護技能実習評価試験評価者養成講習	1	一般社団法人シルバーサービス振興会
7月9日	社会福祉法人制度改革対応セミナー（前期）	3	熊本県社会福祉法人経営者協議会
7月10日	熊本県認知症介護基礎研修会	1	認知症対策・地域ケア推進課
7月11日	PT技術研修会	4	宇城総合病院
7月11日	自立支援型地域ケア会議	1	熊本県県央広域本部 宇城地域振興局
7月16日	地域包括支援センター職員・市町村職員研修会	1	熊本県健康福祉部長寿社会局

7月18、19	九州老人福祉施設研究大会	6	熊本県老人福祉施設協議会
7月23、24	モチベーションアップ研修会	1	熊本県社会福祉協議会
7月25日 9月25日	熊本県権利擁護推進員養成研修	5	熊本県健康福祉部長寿社会局
7月28日 8月18日 10月20日 11月3日	成年後見人材育成（委託研修）	1	公益社団法人日本社会福祉士 会 生涯センター
7月30日	生活支援コーディネーター養成研修（基礎編）	2	熊本県社会福祉協議会
7月30日	熊本県老人福祉施設 生活相談員・介護支援専門員研修会	2	熊本県老人福祉施設協議会
7月30日	熊本県老人福祉施設生活相談員・介護支援専門員研修会	1	熊本県老人福祉施設協議会
8月8日	介護従事者認知症研修会	5	宇土市地域包括支援センター
8月9日	養護老人ホーム及び特別養護老人ホーム整備に係る事前協議の説明会	1	熊本県健康福祉部長寿社会局 高齢者支援課施設介護班)
8月9日	熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会令和元年度「定期総会」及び「講演会」	1	熊本県地域包括・在宅介護支援センター協議会
8月9日	熊本県老人福祉施設職員 ハンド・マナー研修会	1	熊本県老人福祉施設協議会
8月20、21	認知症地域支援推進員研修（新任者・現任者研修）	1	社会福祉法人浴風会
8月21日	HOWDY GOOD FOODS FAIR2019	1	(株)ハウディ
8月21日	指定地域密着型サービス事業者集団指導	2	宇土市
8月27日	公正採用選考人権・同和問題啓発推進員研修会	1	熊本労働局職業安定部長 宇城公共職業安定所長
8月28日	宇土市介護予防・日常生活支援総合事業評価会議	1	宇土市高齢者支援課
9月3、4日 12月10、11	スーパーバイザー養成研修会	1	熊本県社会福祉協議会
9月4日	第1回外国人介護人材受け入れ支援センター	1	熊本県社会福祉法人経営者協議会
9月4日	認知症介護基礎研修	3	全国老人福祉施設協議会
9月4日	安全運転管理者講習	1	熊本県公安委員会
9月5日	市町村介護予防研修会	2	熊本県健康福祉部長寿社会局
9月7日	認知症見守り模擬訓練	3	宇土市地域包括支援センター
9月9日	認知症初期集中支援チーム員伝達研修	2	熊本県認知症対策・地域ケア推進課
9月10日	熊本県老人福祉施設 栄養士・調理員研修会	1	熊本県老人福祉施設協議会
9月11日	労働衛生管理講習会	1	熊本労働基準監督署

9月20日	アンガーマネジメント研修会	1	熊本県社会福祉協議会
9月26日	宇土市権利擁護研修会	3	宇土市地域包括支援センター
9月27日	福祉職員レクリエーション研修会	2	熊本県社会福祉協議会
9月28日	熊本県看護協会看護師機能Ⅱ研修「介護保険施設で働く看護職の臨床推論に基づく看護の提供」	1	公益社団法人熊本県看護協会
9月30日	生計困難者レスキュー事業 CSW 初任者研修	2	熊本県社会福祉法人経営者協議会
10月4日	社会福祉法人労務研修会	3	熊本県社会福祉協議会
10月7、8日	全国経営協 監事専門講座	1	全国社会福祉法人経営者協議会
10月10日	安全管理講習会	1	熊本県公安委員会
10月10、11	地域づくりに関わるコーディネーターのための研修会	1	熊本県社会福祉協議会
10月11日	生活困窮者自立促進事業に伴う支援調整会議	2	宇土市社会福祉協議会
10月16日	ノーリフトケア～施設に導入するためのマネジメントと教育のコツ	2	ケアパーク
10月17日	福祉サービス苦情解決研修会	1	熊本県社会福祉協議会
10月18日	生活支援コーディネーター養成研修	1	熊本県社会福祉協議会
10月24日	感染対策研修会	7	宇城総合病院
10月24日	宇土市通所介護ミーティング	1	金森会
10月29日	感染対策研修会	10	宇城総合病院
10月29日	第2回外国人介護人材受け入れ支援セミナー	1	熊本県社会福祉法人経営者協議会
10月29日	ケアプラン点検支援体制構築事業に係る各圏域研修会	1	熊本県健康福祉部長寿社会局
10月30日	災害に備えての支援者のスキルアップ研修会～PFA研修	1	熊本こころのケアセンター
11月1日	会計研修会	1	熊本県老人福祉施設協議会
11月5日	宇城地域 感染症予防研修会	2	熊本県宇城保健所
11月8日	アセッサー講習	2	一般社団法人シルバーサービス振興会
11月8日	地域包括支援センター職員・市町村担当職員等研修会	1	熊本県健康福祉部長寿社会局
11月13日	給与所得の年末調整等説明会	1	宇土税務署
11月13日	九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会	1	九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会
11月14日	セミナー		
11月16日	熊本県高齢者の抑制を考える会 20周年講演会	1	ケアサポートメロン
11月18日	認知症初期集中支援チーム員向けフォローアップ研修	2	熊本県認知症対策・地域ケア推進課
11月20日	社会福祉法人会計実務研修会	1	熊本県社会福祉協議会

11月22日	スマートライフ講座	3	宇城総合病院
11月23日	施設看護師に求められる役割と看護・ケアの視点セミナー	1	日本通所ケア研究会
11月26日	熊本県老人福祉施設 通所介護職員研修会	1	熊本県老人福祉施設協議会
11月27日	認知症サポーターフォローアップ研修	8	宇土市
11月28日	熊本県老人福祉施設協議会 事務担当者研修会	1	熊本県老人福祉施設協議会
11月～12月	ユニットリーダー研修	1	一般社団法人日本ユニットケア推進センター
12月3日	介護技能実習生の現況報告と今後の人材確保等の協議	4	社会福祉法人寿量会
12月5日	生活支援コーディネーター連絡協議会	2	熊本県社会福祉協議会
12月9日	宇土・宇城管内レスキュー事業実地法定例会議	3	清香園
12月9日	熊本県老人福祉施設協議会総会	1	熊本県老人福祉施設協議会
12月19日	福祉サービス苦情解決事業第三者委員研修会	3	熊本県社会福祉協議会
12月20日	再犯防止に係る講習会	1	熊本県環境生活部県民生活局
12月22日	多職種における自立支援人材育成に関する研修会	2	熊本地域リハビリテーション支援協議会
12月24日	成年後見制度利用促進研修会	1	熊本県社会福祉協議会
1月16日	熊本県災害派遣福祉チーム(熊本 DCAT) 研修	2	熊本県老人福祉施設協議会
1月20、21	福祉職場 OJT 推進研修会	2	熊本県社会福祉協議会
1月25日	多職種セミナー「医療・介護・行政の連携 乳がん診療から」	4	宇土市高齢者支援課
1月27日	生計困難者レスキュー事 CSW フォローアップ研修	2	熊本県社会福祉法人経営者協議会
1月29日	市町村担当職員等高齢者権利擁護対応力向上研修	1	熊本県健康福祉部長寿社会局
1月30日	再犯防止に係る講習会	1	熊本県くらしの安全推進課
2月5日	社会福祉法人会計実務(決算)研修会	1	熊本県社会福祉協議会
2月8日	熊本県認知症ケア専門士会研修会	4	認知症ケア専門士会
2月10日	認知症地域支援推進員フォローアップ研修	1	熊本県健康福祉部長寿社会局
2月11日	多職種における自立支援人材育成に関する研修会	1	熊本地域リハビリテーション支援協議会
2月14日	障害者雇用納付金制度事務説明会	1	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
2月17日	熊本県老人福祉施設協議会城南ブロック研修会	1	熊本県老人福祉施設協議会
2月18、19	相談面接技術研修会	1	熊本県社会福祉協議会

③ 施設環境の整備

新介護業務支援システムを導入しました。

- ④ 不適切ケアに関する職員アンケートの実施
全職員を対象に2回実施しました。

(2) 地域における公益的取組の推進

「I 法人本部 5事業 (1) 地域における公益的取組」に記載。

(3) 信頼と協力を得るための情報発信

- ① 広報「照古苑」の毎月発行
② ホームページへの新着情報掲載
③ 照古苑祭：10月12日（土）開催

(4) 人材の確保に向けた取組の強化

事業活動計算書における人件費の介護保険事業収益に対する割合は、次の表に掲げているように、対前年度比で見ると照古苑拠点区分で3.4ポイント、ひまわり拠点区分で6.0ポイントと共に大きく増えています。これは、令和元年度からは特定処遇改善加算が介護報酬に加算されたため、加算された額と同額を人件費として支出している関係で、介護保険事業収益と人件費の伸びは想定していましたが、特に、ひまわりホームの介護保険事業収益の減収は想定外でありました。要因としては、市内に新規の有料老人ホームができ、デイサービス、ショートステイの利用者が流失し、さらに新型コロナウイルスの影響で利用自粛があったことが考えられます。

事業活動計算書の人件費額と（括弧）書きの資金収支計算書における人件費額との大きな差は、これまで賞与引当金の運用を適切に行っていなかったことによるもので、令和元年度からは正しており、令和2年度からは両計算書の人件費の差は縮小し、資金収支計算書の（括弧）内人件費に近接するものです。

介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

拠点	年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
照古苑 拠点区分	介護保険事業収益 (A)	701,390,339	710,823,406	—	—
	人件費 (B)	494,714,623 (503,174,681)	525,094,076 (512,139,366)	—	—
	介護保険事業収益と 人件費の割合(B/A)	70.5 (71.7)	73.9 (72.0)	—	—
ひまわり 拠点区分	介護保険事業収益 (A)	227,706,017	225,787,400	—	—
	人件費 (B)	181,875,263 (180,873,278)	194,024,531 (189,004,860)	—	—
	介護保険事業収益と 人件費の割合(B/A)	79.9 (79.4)	85.9 (83.7)	—	—

参考：人件費の上段の額は事業活動計算書上の人件費。

下段の（括弧）内の数値は、資金収支計算書における数値。

① 資格取得支援制度の実施

期間	研修名	参加人数	備考
4月～3月	宇城看護高等専修学校（2年生）	1	宇城看護高等専修学校
4月～3月	社会福祉主事資格認定通信課程	1	全国社会福祉協議会
5月～10月	社会福祉士通信課程短期養成コース	1	全国社会福祉協議会
5月～10月	熊本県介護支援専門員更新研修	1	熊本県介護支援専門員協会
9月～12月	熊本県介護支援専門員更新研修	2	熊本県介護支援専門員協会
12月～2月	熊本県介護支援専門員更新研修	2	熊本県介護支援専門員協会
8月～1月	熊本県主任介護支援専門員更新研修	1	熊本県介護支援専門員協会
9月～2月	介護福祉士実務者研修	1	ニチイ学館
11月～2月	介護職員初任者研修	2	ニチイ学館

② 福利厚生等処遇の改善

ア 職員一人ひとりの年次有給休暇日数50%以上の取得

平成31年（1月～12月）に年次有給休暇を10日以上付与された職員の取得状況は、全員が5日以上取得できました。全職員の平均取得状況は、次の表のとおりでした。

部署			取得率				
			令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
照古苑	総務部	事務課	54.7%	—	—	—	—
		生活相談課	53.3%	—	—	—	—
		地域包括支援センター	47.3%	—	—	—	—
	在宅部	デイサービス課	31.8%	—	—	—	—
		ショートステイ課	33.1%	—	—	—	—
		機能訓練課	27.8%	—	—	—	—
		居宅介護支援課	47.3%	—	—	—	—
	看護部	看護課	47.1%	—	—	—	—
		栄養課	36.0%	—	—	—	—
	施設部	介護1課	39.5%	—	—	—	—
		介護2課	44.2%	—	—	—	—
		介護3課	44.6%	—	—	—	—
照古苑全体			42.2%	—	—	—	—
ひまわり	事務課・生活相談課		38.5%	—	—	—	—
	施設課	がんかい	33.2%	—	—	—	—
		たちおか	31.0%	—	—	—	—
		せんば	38.1%	—	—	—	—
		とどろき	44.8%	—	—	—	—

看護課	47.6%	—	—	—	—
デイサービス課	59.8%	—	—	—	—
栄養課	43.6%	—	—	—	—
ひまわり全体	41.8%	—	—	—	—
総計	41.5%	—	—	—	—

イ 雇用形態に関わらない公正な待遇の確保

同一労働同一賃金に対応するため、就業規則及び給与規則の大幅な改正を行いました。

③ ストレスチェックの実施

外部機関に委託：MCサポートセンター

対象職員：153人

実施期間：8月1日～8月8日

メンタルヘルス不調の未然防止を目的に、ストレスチェック調査票を配布し、ストレスの程度を検査し、結果を受検者全員に通知しました。

④ 照古苑職員互助組織「照友会」への支援・連携

委員会名	構成人数	開催回数
照友会幹事会	14名	9回

ア ソフトボール部の活動に助成を行いました。

イ 夏祭参加への助成を行いました。（くまもと心療病院、うと地蔵まつり）

⑤ 新採職員定着化事業

9月6日（金）新採職員17人のうち12人の参加により職員交流会を実施しました。

(5) 健全な財務規律の確立

経理規程を遵守し、コスト比較の徹底により経費の節減に努めました。

(6) 照古苑移転改築事業の推進

① 改築のための施設整備積立の推進

施設整備積立資産の積立状況

年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
残高	236,248,150円	445,986,900円	—	—	—

② 移転先候補地の選定

宇土市から「養護老人ホーム芝光苑の民間移譲」を令和4年度に公募し、令和6年度から完全民営化計画すると話があり、理事会に報告。当法人として、手を挙げることを確認しました。

③ 事業計画作成に向けた諸条件の分析、資料の収集

未着手

2 特別養護老人ホーム照古苑

定員：110人（多床室31室、個室1室）

入所者及びご家族との良好な関係を築き、また、十分な意思の疎通を図ることで、入所者及びご家族が満足できる良質なサービスの提供に努めました。

夜間は、夜勤職員5人の配置、看護職員によるオンコール体制により、緊急時にも対応しました。

入所者の状況において大きな変化は見られないものの、「(6)入所待機者の状況」において、平成27年度から入所要件が変更されたことから4年連続減少傾向にありましたが、当年度は19人(21.8%)、待機者が増加しました。近年は有料老人ホームの新設増加による減少の傾向にありましたが、有料老人ホームの利用料負担の過大さから、特別養護老人ホームへの申し込みが増えてきているような状況です。

(1) 入所者の状況

年度末 現在	性別(人)			平均年齢(歳)			平均介護度			在籍期間(年)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
R1年度	18	92	110	84.6	88.9	86.8	4.1	4.2	4.2	3.5	3.8	3.6
H30年度	18	92	110	86.1	89.1	87.6	4.2	4.2	4.2	3.0	3.5	3.2
H29年度	18	92	110	87.1	89.2	88.4	4.4	4.2	4.2	3.3	3.8	3.7
H28年度	17	93	110	84.5	88.9	88.2	4.1	4.1	4.1	3.8	4.4	4.1
H27年度	18	92	110	82.8	89.0	87.9	4.1	4.2	4.2	3.6	7.0	6.4
H26年度	21	89	110	81.8	87.7	86.6	3.3	3.9	3.8	3.7	5.3	5.0

(2) 入退所の推移

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
退所者数	22人	22人	24人	28人	27人	20人
入所者数	21人	23人	24人	28人	26人	20人

(3) 新規入所者の状況

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
平均介護度	4.00	3.96	3.64	4.14	4.04	4.05
平均年齢	86.0	87.6	91.3	88.5	86.3	87.3

(4) 入所前の居所

年度	介護老人 保健施設	医療機関	在宅	有料老人 ホーム	サ高住（グル ープホーム等）	その他 （特養他）	合計
R 1年度	2人	6人	4人	4人	1人	3人	20人
H30年度	7人	5人	8人	5人	1人	0人	26人
H29年度	7人	4人	7人	9人	0人	1人	28人
H28年度	8人	3人	4人	6人	1人	2人	24人
H27年度	9人	2人	7人	3人	0人	2人	23人
H26年度	4人	4人	6人	3人	3人	1人	21人
H25年度	10人	5人	4人	7人	1人	0人	27人

(5) 退所の事由

年度	看取り	急変	入院死亡	入院退所	在宅、有料 老人ホーム他	合計
R 1年度	8人	5人	1人	5人	1人	20人
H30年度	20人	0人	0人	6人	1人	27人
H29年度	11人	3人	3人	11人	0人	28人
H28年度	15人	1人	2人	4人	2人	24人
H27年度	8人	3人	5人	5人	1人	22人
H26年度	12人	4人	1人	3人	2人	22人
H25年度	11人	5人	4人	5人	2人	27人

(6) 入所待機者の状況

年度末 現在	性別（人）			平均年齢（歳）			平均介護度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
R 1年度	50	56	106	82.0	86.1	84.9	3.59	3.18	3.37
H30年度	36	51	87	80.8	88.5	85.3	3.51	3.43	3.46
H29年度	33	56	89	81.6	86.6	84.7	3.78	3.05	3.32
H28年度	29	68	97	83.0	87.0	85.8	3.61	3.12	3.26
H27年度	29	67	96	83.3	85.8	85.1	3.62	2.83	3.07
H26年度	38	83	121	83.9	86.5	85.7	3.10	2.87	2.94
H25年度	33	97	130	78.5	85.4	83.7	3.09	2.79	2.87

(7) 年間平均稼働率

単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R 1年度	99.6	99.4	100	99.3	98.7	99.7	99.4	98.7	99.4	98.4	98.0	98.2	99.1
H30年度	98.7	98.7	97.6	98.6	98.5	98.5	98.9	98.9	99.1	99.0	97.4	99.1	98.6
H29年度	100.0	99.1	98.9	97.9	99.0	98.9	98.0	97.0	97.2	97.1	98.9	98.1	98.3

H28年度	98.3	98.5	99.0	99.4	98.8	99.1	98.3	97.8	98.5	97.9	98.7	98.5	98.6
H27年度	98.1	99.2	98.1	97.5	98.0	98.0	98.0	97.0	97.0	98.3	97.8	97.8	97.9
H26年度	97.7	97.5	97.6	98.8	98.0	99.1	98.1	98.0	98.9	99.4	99.6	98.0	97.1
H25年度	96.2	96.0	97.0	98.7	97.4	97.9	96.4	91.4	97.8	97.8	98.1	98.2	97.3

(8) 安全対策

事故件数

事故	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
転倒	6	30	14	—	—
転落	11	14	6	—	—
その他	55	62	43	—	—
(骨折)	(5)	(5)	2	—	—
外傷	130	171	120	—	—
薬関係	52	52	48	—	—
食事関係	18	22	3	—	—
離設	3	5	3	—	—
医療関係	32	30	9	—	—
合計	307	386	261	—	—
市町村報告	11	16	23	—	—
インシデント	295	519	334	—	—

(9) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収益 (A)	458,746,781	465,639,681	474,793,707	—	—
人件費 (B)	327,867,879	302,547,788	341,021,887	—	—
介護保険事業収益と人件費の割合 (B/A)	71.5	65.0	71.8	—	—

(10) 保健所に報告したインフルエンザ感染状況

インフルエンザ発生後の経過

発生年月日	発生者状況	対策
12月29日	職員1名	
30日	報告なし	
31日	職員1名	
1月1日	職員1名 利用者1名 (2課)	
2日	利用者1名 (2課)	
3日	利用者2名 (2課)	院長報告

	(1課)	発生棟(1・2課) 利用者・職員予防投与開始 保健所報告
4日	職員1名 利用者1名(3課)	3課利用者・職員予防投与開始
5日	利用者2名(1課)	1課・2課棟の夜勤体制変更(1名増員)
6日	利用者1名(1課)	
7日	職員1名 利用者1名(1課)	
8日 ～10日	感染者なし	
11日	利用者1名(1課)	
15日	以降 発生 なし	保健所報告終了

(考察)

今年度は職員5名、利用者10名の方がインフルエンザに罹患されました。

保健所報告は3日に総数4名となったため、嘱託医(産業医)報告と同時に保健所報告を開始、施設での対応として、感染者の個別対応・マスク着用・手洗い・嗽の徹底・換気その他、利用者・職員への予防投与を行い15日終了となりました。

保健所からの指摘事項や立ち入り調査なし。

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

3月上旬から面会制限を行いました。各種会議等は文書回覧や照会など代替方法で対応。幸い、使用者及び職員の感染はなく経過しました。引き続き施設全体で発生予防に取り組んでいます。

令和2年3月9日付け厚生労働省事務連絡「社会福祉施設等職員に対する新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために」に沿って、職員への周知を行いました。

- * 職員は勤務中には必ずマスクの着用と1ケア・1手洗い(手指消毒)の徹底
- * 出勤時・退勤時は必ず手指の消毒・手洗いを行う
- * 勤務前の検温(各配置場所で検温を行い記録に残す)

3 照古苑ショートステーション(短期入所)

定員：20人(2人部屋7室、個室6室)

在宅部としてデイサービスとの兼務の職員を配置し、日中は5人体制、夜勤はショートステーション専属で1名配置し、利用者の状態把握、状態に合わせた適切なケア、サービスの充実に努めました。

また、前年度から常勤の理学療法士1名を配置し、利用者の個別機能訓練の充実に図りました。

(1) 利用状況

年度末には稼働率が大きく伸びましたが、年間の平均稼働率は、前年度と比較すると0.5ポイント減で、ほぼ前年度並みの利用でした。高い稼働率を示した熊本地震があった平成28

年度を除くと、安定した利用状況でした。

利用者の状態把握、状態に合わせた適切なケア、サービス充実に努め、徐々に利用者が増加しています。更なる利用者増を目指し、新規の利用者を獲得すべく居宅介護支援事業所等と、密接な連携を図っていきます。

また、利用者の平均介護度は若干低下傾向にあり、要支援者を含む介護度の低い方々の利用増に努め、家族介護の負担軽減につながることを期待します。

表1 年間平均稼働率 単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R1年度	74.5	77.5	72.5	67.5	77.5	69.0	68.0	61.5	62.5	72.5	80.5	89.0	72.7
H30年度	66.3	72.1	81.0	79.2	76.3	81.0	73.4	77.0	75.3	61.5	71.8	63.4	73.2
H29年度	68.2	68.2	61.5	73.4	82.7	76.2	68.7	81.3	77.3	86.5	66.8	70.8	73.5
H28年度	82.3	89.4	83.9	85.9	87.6	89.4	78.6	69.2	72.6	75.0	80.0	67.0	80.1
H27年度	75.0	71.5	55.0	60.0	60.0	55.0	61.0	71.2	70.3	74.5	78.3	73.9	67.1
H26年度	57.5	59.0	58.0	66.5	75.0	81.5	82.5	78.0	77.5	72.0	82.0	72.5	71.8
H25年度	88.0	87.0	83.0	74.5	76.5	76.0	72.5	62.0	59.0	56.5	69.0	60.0	72.0

表2 利用者の平均介護度

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
平均介護度	2.5	2.4	2.1	2.0	2.0	2.1

(要支援1、2を除く。)

(2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収益(A)	55,050,401	54,617,099	55,222,081	—	—
人件費(B)	44,075,193	45,750,239	39,510,199	—	—
介護保険事業収益と人件費の割合(B/A)	80.1	83.8	71.5	—	—

(3) 事故件数

事故	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
転倒	5	4	9	—	—
転落	3	6	6	—	—
その他	4	7	8	—	—
(骨折)	(1)	(1)	(12)	—	—
外傷	3	5	3	—	—
薬関係	1	(1)	21	—	—
食事関係	0	(3)	2	—	—

離 設	0	2	0	—	—
医療関係	0	0	2	—	—
合 計	16	24	54	—	—
市町村報告	3	2	12	—	—
インシデント	3	52	140	—	—

4 照古苑デイサービスセンター（通所介護）

定員：40人

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者本位のサービス提供に努めました。

リハビリ体制は、常勤の理学療法士3名とパート（週4日6時間勤務）の理学療法士1名により、利用者個々の状態に合わせた機能向上訓練、看護師による生活動作訓練に分けて提供しています。更に、令和2年度より言語聴覚士が機能訓練課に配属されたことでより充実したリハビリを提供できると考えます。今後も利用者一人一人のニーズを捉え満足していただけるサービスを提供できるよう職員の質の向上を図ってまいります。

（1）利用状況

令和元年度は通常規模事業所として営業しました。しかし、入院が多く退院後の有料老人ホーム入所により利用者数の低下が見られました。

特に、3月からはコロナウイルスの感染予防として有料老人ホームなどに入所している利用者の利用中止、個人として利用を中止される利用者も見られました。

また、事業対象者や要支援者には、ウェルネス照古苑いきいき道場を利用させていただいており、要介護から要支援、要支援から要介護へと変更となる利用者にとっては、同じ職員の下でサービスを継続できる安心感につながっているものと思います。

大規模事業所になると報酬単価が大きく減少することもあり、今後も計画的に、通常規模型の月平均延べ利用者数を750人以下に誘導していきたいと考えます。

表1 1日当たりの平均利用人数 単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R1年度	31.2	30.5	29.4	29.3	30.0	32.4	32.3	30.4	29.8	28.2	30.9	26.1	30.0
H30年度	30.6	29.3	31.8	33.2	32.2	34.8	33.7	34.7	34.6	30.6	32.2	31.8	32.5
H29年度	34.8	36.0	35.2	34.0	33.3	34.2	34.2	30.7	31.6	30.2	31.9	31.6	33.1
H28年度	30.9	36.5	36.4	38.3	38.0	38.2	36.8	37.4	37.0	37.8	36.5	37.2	36.8
H27年度	37.3	37.0	38.2	37.8	38.0	38.8	39.7	40.1	39.7	37.7	35.4	36.0	38.0
H26年度	37.5	37.5	37.4	35.6	37.0	37.5	38.3	39.8	39.0	32.5	33.8	38.0	37.0
H25年度	35.9	37.7	37.7	37.2	34.8	35.1	33.9	34.7	35.0	35.8	35.0	36.3	35.8

表2 利用者の平均介護度

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
平均介護度	1.4	1.3	1.6	1.7	1.6	1.7

(2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収益(A)	94,548,606	102,654,179	97,695,688	—	—
人件費(B)	80,929,342	73,362,746	69,883,070	—	—
介護保険事業収益と人件費の割合(B/A)	85.6	71.5	71.5	—	—

※ ウェルネス照古苑いきいき道場を含む。

(3) 事故件数

事故	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
転倒	7	15	3	—	—
転落	0	1	2	—	—
その他	8	0	2	—	—
(骨折)	(0)	(0)	(0)	—	—
外傷	12	8	6	—	—
薬関係	0	0	1	—	—
食事関係	0	1	0	—	—
離設	1	0	0	—	—
医療関係	0	0	0	—	—
合計	28	25	14	—	—
市町村報告	3	5	4	—	—
インシデント	5	45	17	—	—

※ ウェルネス照古苑いきいき道場を含む。

4-2 ウェルネス照古苑いきいき道場 (宇土市介護予防・日常生活支援総合事業)

事業対象者・要支援者の介護予防を目的にウェルネス照古苑いきいき道場を平成28年10月に開設し3年半が経ちました。台所や浴室も整備し、利用者が自立した生活ができるよう生活機能に着目したリハビリを行っています。開設からの延べ利用者数は200名弱となっています。宇土市での「いきいき道場」の知名度も上がってきているようです。しかし、3月からは新型コロナウイルスの影響で利用を中止される利用者も多い状況です。

(1) サービスA (月～土)

総合事業において、入浴サービスを行わない事業所が多くある中、いきいき道場では利用者のニーズを尊重し、入浴・買い物などの生活支援、認知症予防のための脳の活性化訓練、潜在能力の引き出し、筋力の維持・向上のためのリハビリなど多彩な内容を2名～3名の職員で行っています。また、サービスC型を卒業された利用者の多くがサービスA型に移行され継続利用されています。今後もサービスの質を落とすことなく、収益増を図っていきます。

表1 1日当りの通常利用人数

利用者	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
事業対象者	—	2.0	4.2	4.4	—
要支援1	—	1.6	1.8	1.4	—
要支援2	—	0.3	2.1	1.5	—
合計	—	3.9	8.1	7.3	—

(2) サービスC (月・水・金)

1年間を通じて利用者数の顕著な増加は見られませんでした。利用者は概ね4ヶ月～6ヶ月でサービスC型を卒業するサイクルが影響しています。卒業された方々はサービスA型への利用につながるよう努めます。また、C型(卒業後A型に移行含む)卒業の利用者の中にはボランティアとして活躍していただいている方もおられます。

表2 1日当りの利用人数

利用者	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
事業対象者	1.6人	2.8人	1.9人	1.2	—
要支援1	0.4人	1.0人	1.0人	1.1	—
要支援2	0.2人	0.6人	2.1人	0.9	—
合計	2.2人	4.4人	5.0人	3.2	—

(3) 自費利用 (月～土)

総合事業は原則週1回利用と回数制限があり、回数増を望まれる利用者に対しては自費利用にてサービスの受け入れを行っています。自費利用は家計への負担を考慮し、極力単価を抑えて、いきいき道場・照古苑デイサービスセンター・ひまわりデイサービスセンターの利用者に限り利用をしていただいています。要介護の利用者も限度額が足りず2名の方が自費を週1回利用されています。

表1 1日当りの通常利用人数

利用者	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
事業対象者	—	1.1	1.3	1.5	—
要支援1	—	1.7	1.0	1.1	—
要支援2	—	0.6	1.0	0.9	—
要介護1	—	—	—	0.2	—
合計	—	3.4	3.3	3.7	—

5 照古苑居宅介護支援事業所

当事業所は、5名の介護支援専門員(主任介護支援専門員及び兼務も含む)を配置して、介護保険の基本理念である「高齢者の自己決定権の尊厳」「自分らしい生活の維持」及び「自立支援」を基本とし、常に利用者の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し支援を行ってきました。

(1) 支援状況

① 法令を遵守し自立支援の理念の下、ケアマネジメント業務を実施する中で、毎週開催される居宅会議において、事例等を検討し、適切なマネジメント業務に結び付けました。

また、毎月、訪問・モニタリングを実施し、必要時にはケアプランの見直し、職員同士のフォローや情報の共有を図る中で、互いのケースを精査しながら、ケアマネジメント業務を実践しています。

② 安定した利用者数の確保として、令和元年度プラン総数は、年間1,238件、月平均101件（予防2件）を調整しました。

今後も、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者が可能な限り自宅で自立した生活を営むことができるように支援してまいります。

また、地域包括支援センターとも連携を図り、困難事例にも迅速に対応してまいります。

表1 年間介護度別の支援件数

年 度	事 業 対 象 者	要支援			要介護						合 計
		1	2	計	1	2	3	4	5	計	
令和1年度	26	23	0	46	610	284	226	74	16	1,210	1,238
平成30年度	34	39	6	79	653	293	160	96	11	1,213	1,292
平成29年度	9	63	33	96	627	309	134	148	36	1,254	1,359
平成28年度	0	115	28	143	679	280	133	138	15	1,245	1,388
平成27年度	0	21	26	47	563	172	114	116	47	1,012	1,059
平成26年度	0	117	149	266	493	214	153	115	72	1,047	1,313
平成25年度	0	121	170	291	434	260	148	57	42	941	1,232

表2 登録者数と給付請求件数

年 度	登録者数			支援実績件数（請求分）	
	要介護者	要支援者	事 業 対 象 者	要介護者	要支援者 (事業対象者含む)
令和1年度	113	2	2	101	4
平成30年度	115	4	3	101	4
平成29年度	114	4	2	105	7
平成28年度	125	9	—	105	12
平成27年度	94	3	—	84	4
平成26年度	122	22	—	87	22
平成25年度	111	24	—	78	24

表3 年間事業者別利用状況

年 度	訪問介護	通所介護	通所リハ	短期入所	福祉用具	その他
令和1年度	32	90	8	22	57	12
平成30年度	36	84	10	21	50	12
平成29年度	45	90	10	20	55	10

平成 28 年度	44(7)	88(13)	10(3)	17(0)	56(3)	8(0)
平成 27 年度	33(3)	68(15)	10(5)	15(0)	42(7)	10(0)
平成 26 年度	34(6)	65(19)	14(5)	16(4)	43(10)	11(0)

※ () は要支援者の内訳。

※その他は定期巡回、訪問看護、訪問リハ、訪問入浴等

(2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29 年度	H30 年度	R 1 年度	R 2 年度	R 3 年度
介護保険事業収益 (A)	19,768,200	19,045,280	19,093,950	—	—
人 件 費 (B)	16,887,334	18,903,141	19,450,400	—	—
介護保険事業収益と 人件費の割合 (B/A)	85.4	99.3	101.9	—	—

(3) 重点項目への取り組み

① 在宅生活を継続するための支援

地域包括支援センター、民生委員、区長、警察、自治会、サービス提供事業所等、地域の関係機関で構成する「SOSネットワーク会議」や「見守りネットワーク会議」への参加を通じて、関係機関との協働を推進し、利用者の安全確保体制の強化につなげました。

② 医療機関との連携

医療ニーズの高い利用者には、入退院時のカンファレンス等に積極的に参加し、主治医や訪問看護との連携を図り、退院しても利用者自身が安心して在宅生活が暮らせるよう支援提供を努めました。

③ 関係機関との連携

地域ケア会議に積極的に参加し、個別事例等に対し、多職種による検討や情報共有を図り、問題解決や主任ケアマネとして参加されるケアマネに対し助言や援助を行うことで適切に自立支援の理解が図れるよう努めました。

④ 職員の資質向上

多様化する介護保険制度に対応できるよう、「Ⅱ照古苑1重点課題②研修実績」のとおり積極的に研修会に参加し、職員のスキルアップに努めました。

6 宇土市地域包括支援センター

当センターは、公正・中立の立場から、令和元年度は市から地域支援事業10事業、介護予防支援等としてケアマネジメント業務、計11事業を受託しました。設置から13年目を迎え、機能役割も多様化し、地域支援体制の構築に努め運営に努めました。

- | |
|--|
| <p>1 地域支援事業</p> <p>(1) 地域包括支援センター業務</p> <p>ア 総合相談支援事業</p> <p>イ 権利擁護事業</p> <p>ウ 包括的・継続的ケアマネジメント事業</p> <p>(2) 地域ケア会議推進事業</p> <p>(3) 認知症総合支援事業</p> <p>ア 認知症地域支援・ケア向上推進事業</p> <p>イ 認知症サポーター養成事業</p> <p>ウ 認知症高齢者見守り事業</p> <p>エ 認知症初期集中支援推進事業</p> <p>(4) 生活支援コーディネーター業務</p> <p>(5) 在宅医療・介護連携推進事業</p> <p>2 介護予防支援等（要支援1・2、事業対象者のケアマネジメント業務）</p> |
|--|

(1) 職員配置

令和元年度末時点で、保健師(2人)、看護師(1人)、社会福祉士(4人)、主任介護支援専門員(4人)、認知症支援推進員(看護師1人兼務)、生活支援コーディネーター(保健師1人兼務)、事務員(1人)、計12人を配置し、専門性を強化し運営しました。

(2) 活動実績

① 地域包括支援センター業務

ア 総合相談支援事業

相談対応件数は、年間1,109件。事務所に専門職1名以上が待機する体制をとりました。新規相談は218件。啓発活動としては、年度当初に集中的に92箇所を訪問。地域をネットワークの面ととらえ「顔の見える連携」を意識し活動しました。

初回相談は月平均18件、相談者も別居家族(県外等)や甥姪、知人、事業所等多様化しており介入までの調整に時間を費やす事例が増えています。活動形態として訪問相談対応が425件と全体の38%を占めています。

包括支援センターの特徴である24時間相談受付体制として、夜間休日は専門職が電話を受け、時間外相談件数は138件と増加しています。内容的には緊急性を要すものは少なく状況判断ができない方や社会との繋がりが薄い方達からの相談が多くみられます。

イ 権利擁護事業

虐待対応件数は3件(疑い含む)。うち虐待認定は1件。類型は身体的権利侵害2件、経済的権利侵害2件でした。被虐待者を分離保護した事案は1件。権利擁護事業や後見制度に関わる相談は118件。包括から市長による審判請求の要請や後見申立て支援や後見人選任につなげた事案はありませんでした。

消費者被害防止の取組みは、民生委員、居宅事業所や協力機関へ具体的事例と対処方法など周知。高齢者に身近な立場へ情報提供、注意喚起を図りました。

ウ 包括的・継続的ケアマネジメント事業

今年度は居宅介護支援事業所と包括支援センター連絡会を立ちあげ、毎月第3金曜日16時から定期開催し、事例検討会を4回、居宅代表者との打ち合わせ会議を奇数月に行い介護支援専門員の悩み、地域課題、要望など聞き取り対話を重視しました。

② 地域ケア会議推進事業

個別ケースの検討と「自立支援、重度化予防に資するケアマネジメントの支援」に柱をおき、月1回2事例検討。年間延べ20件実施。また、会議後3か月後に助言内容を踏まえたうえでの実地報告書を提出してもらい、助言者等と効果検証を行いました。

③ 認知症総合支援事業

ア 認知症地域支援・ケア向上推進事業

初回相談は46件。年間の対応総数は719件となっております。

地域住民向けに開催している認知症フォーラムでは宇土市内3地区の代表による地域づくりについての実績報告と、運転免許センターから高齢者の運転についての講義を企画・実地しました。

また、見守り模擬訓練では、緑川地区の地区社協を中心に打ち合わせを重ねて実地しました。さらに昨年度、模擬訓練を開催した走潟地区婦人会の発案で敬老会での介護劇を実地。高齢者や認知症の方にやさしい地域にしようという、地域主導の活動に繋がりました。

イ 認知症サポーター養成事業

養成講座の開催実績は、年間10回、314人を養成しました。

第7期計画では、今年度のサポーター養成累計数の目標は6,600人で、実際は6,023人となりましたが、初めての取り組みとして、学校での講座に地域住民の参加協力を得て、児童に地域の意識付けを図ることができたと思います。

ウ 認知症高齢者見守り事業

一般住民や各種団体、企業に対して、SOSネットワーク事業の周知や認知症の理解を深め、地域での見守り体制の必要性について説明を行いました。登録については、新規登録者が14件。年度末に登録者40名の現況調査を実施、併せて、登録継続の意思確認を行いました。

エ 認知症初期集中支援推進事業

定期的にチーム員会議を月1回開催。対応件数は3件（うち1名は前年度継続者）。内容としては対象者のみならず、家族も課題を抱えている方や家族がいない方への対応で、訪問や電話等のチーム員活動は126回となりました。課題が複雑化している中でも、専門多職種で検討し多角的な関わりを持つことができました。しかし、対象者に身寄りがない場合や、逆に他の家族も課題を抱えているケース等、課題が多く、チーム員としての訪問や電話等の活動は126回となりました。その間、月に1回、チーム員会議で内容を検討、複雑化する相談内容に専門多職種で連携しながら対応を行いました。

④ 生活支援コーディネーター業務

地域活動への参加、協議体開催により、資源把握や掘り起しに努めました。

協議体は、昨年度関わった地域以外の展開ができ、計7回開催しました。

⑤ 在宅医療・介護連携推進事業

相談件数242件。内容は退院後の支援依頼、介護保険申請、がん末期在宅支援、認知症の

相談、施設入所相談など幅広くなっています。連携回数は402件。年々近隣医療機関からも相談や情報提供が増加し、相談窓口として浸透しています。

(3) 介護予防支援等（事業対象者、要支援1・2のマネジメント業務）

年間の請求実績は要支援1・2が2,077件、事業対象者が652件、年間合計件数は2,736件。センターが直接対応は1,887件、居宅介護支援事業所への委託が842件となりました。

(4) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収益(A)	59,412,500	59,434,100	64,017,980	—	—
人件費(B)	55,611,149	54,150,709	55,228,520	—	—
介護保険事業収益と人件費の割合(B/A)	93.6	91.1	86.3	—	—

(5) 総括

今年度のセンター全体の相談対応件数は、表1活動実績をみると、7,994件。総件数は年々増加傾向にあります。平成18年に市から委託を受け13年が経過し、当センターに求められる内容も多様化しており、より機能強化、質の向上が求められています。

今後も、様々な資源を把握し、それらを有機的に連携させたうえで高齢者につなぐ核として、地域包括ケアシステムの中心的な役割が担えるようセンターとしてもニーズに応じた適切な支援調整を行い、「予防」や「地域見守り」の意識づくり（啓発）を宇土市、関係機関と連携し支援に努めてまいります。

表1 活動実績

年度	活動形態			合計	合計のうち 初回相談
	電話件数	来所件数	訪問件数		
令和1年度	3,278	321	4,395	7,994	218
平成30年度	2,805	325	4,172	7,302	205
平成29年度	2,559	345	4,267	7,171	235
平成28年度	1,688	270	3,579	5,537	275
平成27年度	1,581	220	5,084	6,885	200
平成26年度	2,907	407	5,132	8,446	238
平成25年度	2,811	404	4,676	7,891	—

7 照古苑 ひまわりホーム（地域密着型指定介護老人福祉施設）

定員：29人（ユニット型個室）

入居者及びご家族との良好な関係を築き、また、十分な意思の疎通を図ることで、入居者及び

ご家族が満足できる良質なサービスの提供に努めました。一方で苦情受付対応が2件あり、今後もスタッフ教育等の充実を図る必要があると考えます。

夜間は、夜勤職員2人の配置、看護職員によるオンコール体制により、緊急時にも対応しました。現在は、喀痰吸引について、研修を受けた介護職員が配置医師・看護職員の指示の下で、看護職員と介護職員が協働して実施しています。

入居者の状況について、入居者の男女比率については前年度と大きな違いはありませんでしたが、入居待機者の状況では男性の比率が高くなってきており、今後の入居者状況も変化してくることが予想されます。今後も熊本県特別養護老人ホーム入所者取扱指針に則したひまわりホーム入居取扱指針に沿ってバランスの取れた入居調整を行ってまいります。

年間稼働率について、昨年度の入院件数が16件あり、そのうち入院期間2週間以上のケースが6件ありました。その6件の中で1ヶ月以上が3件で、年末年始に係り対応困難であったケース、施設での転倒骨折のケース、ご家族・病院との調整が難渋したケースでした。

今後は空床期間を1週間前後で調整し、稼働率アップにつなげていきたいと思えます。

また、退居後に再度入居受入れが必要になられたご利用者については、熊本県特別養護老人ホーム入所指針の(9)入所決定に係る手続きの例外として、いつでも受け入れができるように態勢を整えていきたいと考えます。

その他、入居申込者30名以上の確保維持ができました。今後も居宅介護支援事業所や病院等から入居申込を頂けるよう密に連携を取ってまいります。

(1) 入居者の状況

年度末 現在	性別 (人)			平均年齢 (歳)			平均介護度			在籍期間 (年)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
R1年度	3	26	29	93.7	89.4	89.8	3.3	4.1	4.03	1.11	2.54	2.4
H30年度	3	26	29	94	90.3	90.7	3.5	4.2	4.1	0.69	2.51	2.32
H29年度	2	27	29	87.0	90.1	89.9	3.0	4.0	4.0	2.37	2.38	2.37
H28年度	3	26	29	86.3	91.1	90.4	3.5	3.7	3.7	2.14	2.20	2.19
H27年度	3	26	29	83.7	89.6	89.0	4.0	3.6	3.7	1.69	1.67	1.67
H26年度	5	24	29	78.4	88.0	86.3	3.4	3.4	3.4	1.12	1.08	1.08

(2) 入退居の推移

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
退居者数	10人	8人	7人	11人	8人	10人
入居者数	11人	8人	7人	10人	9人	10人

(3) 新規入居者の状況

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
平均介護度	3.6	3.4	3.4	4.4	3.8	3.8

平均年齢	86.6	88.5	88.7	86.0	90.1	86.2
------	------	------	------	------	------	------

(4) 入居前の居所

年度	介護老人 保健施設	医療機関	在宅	有料老人 ホーム	サ高住(ゲル ープホーム等)	その他 (特養他)	合計
R1年度	3人	2人	3人	2人	0人	0人	10人
H30年度	0人	1人	7人	1人	0人	0人	9人
H29年度	2人	2人	1人	2人	2人	1人	10人
H28年度	1人	0人	0人	1人	0人	5人	7人
H27年度	1人	1人	1人	2人	0人	3人	8人
H26年度	0人	1人	6人	1人	2人	1人	11人

(5) 退居の事由

年度	看取り	急変	入院死亡	入院退居	在宅、有料 老人ホーム他	合計
R1年度	6人	0人	0人	4人	0人	10人
H30年度	1人	1人	2人	4人	0人	8人
H29年度	3人	1人	1人	5人	1人	11人
H28年度	2人	0人	1人	2人	2人	7人
H27年度	2人	0人	0人	5人	1人	8人
H26年度	2人	0人	2人	5人	1人	10人

(6) 入居待機者の状況

年度末 現在	性別(人)			平均年齢(歳)			平均介護度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
R1年度	17	21	38	81.4	87.1	84.2	3.3	3.3	3.3
H30年度	13	23	36	84.0	88.0	86.0	3.4	3.2	3.3
H29年度	6	18	24	86.0	78.6	82.3	3.5	2.8	3.2
H28年度	4	23	27	92.5	85.8	89.2	3.0	3.7	3.4
H27年度	7	21	28	83.0	86.5	84.8	4.0	3.4	3.7
H26年度	8	26	34	—	—	85.2	—	—	2.9

(7) 年間平均稼働率

単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R1年度	99.5	95.5	91.7	98.7	100.0	96.7	95.6	99	96.1	96.8	99.5	98.9	97.3
H30年度	100.0	98.1	94.6	97.3	96.4	98.0	98.9	98.8	96.8	97.3	98.8	98.7	97.8
H29年度	97.2	98.7	97.1	98.1	97.2	97.2	94.7	94.6	98.9	96.3	97.4	100.0	97.3
H28年度	100.0	100.8	102.8	100.0	100.0	100.0	98.8	97.2	95.1	99.3	99.0	99.4	99.3

H27年度	97.8	98.4	97.7	100.0	98.8	99.4	98.1	99.0	93.9	98.8	99.5	100.0	98.4
H26年度	91.4	97.4	95.0	98.1	97.2	94.9	99.4	100.0	97.3	96.7	98.1	95.7	96.8

(8) 安全対策

事故件数

事故	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
転倒	1	0	1	—	—
転落	0	2	2	—	—
その他	25	28	15	—	—
(骨折)	(0)	(1)	(1)	—	—
外傷	14	17	58	—	—
薬関係	7	7	17	—	—
食事関係	1	2	11	—	—
離設	0	1	0	—	—
医療関係	0	0	0	—	—
合計	48	57	104	—	—
市町村報告	0	3	16	—	—
インシデント	3	39	42	—	—

(9) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収益(A)	135,924,509	142,486,835	143,420,104	—	—
人件費(B)	117,066,706	114,580,835	135,861,655	—	—
介護保険事業収益と人件費の割合(B/A)	86.1	80.4	94.7	—	—

(10) 保健所に報告したインフルエンザ感染の状況

保健所への感染者報告はありませんでしたが、職員2名の感染を認めました。

- ① 感染期間：12月6日～1月1日
- ② 感染者：職員2人
 - ・12月5日、1名が発熱しインフルエンザテスト陽性、イナビル吸入薬を5日間吸入し 12月9日治療終了、12月10日より就労開始しました。
 - ・12月29日、1名に発熱がみられインフルエンザテスト陽性、ゾフルーザ服用し1月1日まで休業し1月2日より就労開始しました。
- ③ インフルエンザ感染予防としての面会制限は施行していません。
 - *インフルエンザ感染対策マニュアルに準じて一人一人が予防を行うように徹底する。

(11) コロナウイルス感染症防止対策

基本的にはインフルエンザ感染対策に準じて対応を行いました。

原則、面会制限にて対応（2月24日～）

看取り対応中の利用者：ご家族等の意向に沿って、体温測定、マスク着用 手指消毒、少人数にて短時間の面会をして頂きます。また終了後は、換気、使用した居室やエレベーターなどのアルコール拭きを行い感染の予防に努めました。

8 照古苑ひまわりホームショートステイ（短期入所）

定員：10人（ユニット型個室）

日中は職員3人体制、夜間はフロアに1名職員を配置し、ご利用者の状態把握や状態に合わせた適切なケア、サービスの充実に努めました。

（1）利用状況

前年度の稼働率と比較すると当年度の稼働率は8.2ポイントの低下でした。月ごとで比較するとR1年5月、7月、R2年3月は、前年度と比べて4.2～13.2ポイントの上昇が見られていますが、その他の月に関しては5.6～25.6ポイントと大きく低下し、年間通して前年度よりも稼働率低下の月が多い状態でした。原因として、利用の変更があった際の対応に積極性の不足があったと考えます。当年度は利用予定の際の稼働率と実際の稼働率に変動が多くありました。特にロング利用予定だった方がご家族の都合でキャンセルになった部分や入居へ移行された方がおられた6月、9月、10月、11月、12月の稼働率は大きく低下しました。どれも事前に予測が出来るものでは無かったと思いますが、月の前半に変更になった部分に関しては対応できることがまだまだあったように感じます。今後はキャンセルが出た際に多くのケアマネジャーへ積極的な利用を働き掛け、スムーズな利用調整を行ってまいります。

また、現在行っている次期入居者や入院退居となられた方のショートロング利用の活用も状況を見ながら、入居、ショート双方にバランスの取れた長期的な目線での調整を行ってまいります。

表1 年間平均稼働率 単位：%

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R1年度	67.7	77.1	67.3	73.9	76.8	65.3	66.8	62.7	74.8	79.0	89.3	88.7	74.1
H30年度	73.3	63.9	78.3	69.7	92.6	86.3	86.5	88.3	86.1	90.6	96.8	75.5	82.3
H29年度	87.0	89.3	84.0	88.0	88.0	83.5	82.5	80.6	84.8	75.8	85.0	87.7	85.5
H28年度	92.6	102.9	78.5	87.5	77.0	78.6	82.2	79.6	79.3	69.6	93.5	95.8	84.8
H27年度	69.3	62.2	61.0	64.5	62.2	48.7	61.6	63.0	65.4	71.9	67.5	76.1	64.5
H26年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

表2 利用者の平均介護度

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
平均介護度	2.6	1.9	2.1	2.2	2.1	2.5

（要支援1、2を除く。）

（2）介護保険事業収益と人件費

（単位：円、%）

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収益(A)	38,844,497	37,337,239	34,160,488	—	—

人件費 (B)	34,513,846	28,973,112	23,781,825	—	—
介護保険事業収益と人件費の割合 (B/A)	88.9	77.6	69.6	—	—

(3) 事故件数

事故	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
転倒	0	0	0	—	—
転落	0	1	0	—	—
その他	5	5	5	—	—
(骨折)	(1)	(0)	(1)	—	—
外傷	1	3	9	—	—
薬関係	1	3	8	—	—
食事関係	0	3	1	—	—
離設	0	2	1	—	—
医療関係	0	0	0	—	—
合計	7	17	24	—	—
市町村報告	1	0	8	—	—
インシデント	1	0	11	—	—

9 照古苑ひまわりホームデイサービス (通所介護)

定員：25人

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者本位のサービス提供に努めました。

リハビリ体制は、常勤の理学療法士1名により、利用者個々の状態に合わせた機能向上訓練、看護師による生活動作訓練に分けて提供しています。今後も利用者一人一人のニーズを捉え満足していただけるサービスを提供できるよう職員の質の向上を図ってまいります。

(1) 利用状況

デイサービスの年間利用者数は、昨年度同様、1日平均17.3人でした。4月から12月までの1日平均利用者数は増加傾向でありましたが、年末から入院・長期のショートステイ利用が増加し、その後在宅復帰が困難で施設への入所が多く、更には新型コロナウイルス感染症により、利用を控える利用者が増えた事が要因と考えます。

利用者の平均要介護度は、昨年度の1.9より0.1ポイント下がり1.8でした。

表1 1日当たりの平均利用人数

単位：人

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
R1年度	17.2	17.5	18.4	19.3	18.2	17.8	17.2	18.3	18.0	16.4	15.2	13.7	17.3

H30年度	14.6	14.7	15.3	17.7	17.2	17.6	17.0	17.8	17.0	16.8	17.5	18.1	17.3
H29年度	15.8	16.3	16.5	17.9	17.8	17.4	19.2	19.8	18.5	16.8	18.0	17.0	17.6
H28年度	11.6	12.7	12.4	13.4	13.9	13.7	14.0	13.9	14.1	14.2	16.2	16.3	13.9
H27年度	11.2	11.5	10.1	9.6	10.8	11.1	11.7	11.8	11.3	10.2	10.6	10.5	10.9
H26年度	3.5	4.1	4.8	4.9	4.9	5.5	6.6	7.8	7.8	7.3	9.2	10.5	6.4

表2 利用者の平均介護度

年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
平均介護度	1.8	1.8	1.5	1.6	1.9	1.8

(2) 介護保険事業収益と人件費

(単位：円、%)

年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
介護保険事業収益 (A)	46,226,279	47,881,943	48,206,808	—	—
人件費 (B)	34,071,631	38,321,316	34,381,051	—	—
介護保険事業収益と人件費の割合 (B/A)	73.7	80.0	71.3	—	—

(3) 事故件数

事故	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
転倒	1	0	3	—	—
転落	0	0	2	—	—
その他	1	8	1	—	—
(骨折)	(0)	(0)	(0)	—	—
外傷	0	1	5	—	—
薬関係	1	0	1	—	—
食事関係	0	0	0	—	—
離設	0	0	1	—	—
医療関係	0	1	0	—	—
合計	3	10	13	—	—
市町村報告	0	7	4	—	—
インシデント	1	0	19	—	—

Ⅲ たんぽぽ事業報告

1 たんぽぽ保育園

(1) 保育所の運営

① 定員 110人

② 年齢別・月別利用児童数

(各月初日現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	7	8	8	8	8	8	9	9	9	10	10	12	106
1歳児	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	225
2歳児	23	23	23	23	23	22	23	23	23	23	23	23	275
3歳児	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	25	311
4歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
5歳児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
計	119	120	120	120	120	119	121	121	121	122	121	122	1,446

(2) 職員

① 職員数

年度	4月1日時点		3月31日時点	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
令和元年度	14人	14人	14人	17人
平成30年度	13人	18人	13人	17人
平成29年度	14人	14人	14人	13人
平成28年度	13人	14人	13人	14人
平成27年度	13人	13人	13人	13人

② 職員配置

(R2.3.31)

職名	正規職員	非正規職員	計
園長	1人	—	1人
副園長	1人	—	1人
主任保育士	1人	—	1人
副主任保育士	1人	—	1人
保育士	8人	11人	11人
保育助手	—	2人	2人
看護師	—	1人	1人
栄養士	—	1人	1人
調理員	1人	2人	3人
事務員	1人	—	1人

(3) 行事等の開催

主な行事等の開催状況

実施月日	行事名
------	-----

4月	6日	入園式
	16日	園医健康診断
	20日	お見知り遠足
5月	25日	未満児保育参加・以上児保育参観
6月	4日	花園小一年生授業参観・幼保連携会議
	7日	歯科検診
	29日	奉仕作業（以上児）
7月	1日	プール開き
	4日	七夕まつり 花園小学校七夕まつり交流会
	12日	年長児お泊まり保育（12・13日）
	30日	花園小学校連絡会・保育参観後懇談会
8月	8日	ぱれっと人形劇観覧（花咲かじいさん）
	9日	心療病院合同盆踊り
9月	7日	奉仕作業（未満児）
	19日	園児検尿検査
10月	5日	運動会
	8日	園医健康診断
	11日	秋の遠足
	12日	照古苑祭年長児参加
	15日	ハロウィンパーティ
	26日	心療病院文化祭（以上児参加）
	28日	花園小学校花植交流
	31日	年長児車両基地見学
11月	11日	ふれあい動物園
	14日	年長児車両基地見学花園小学校おもちゃ遊び交流会
	27日	就学児検診
12月	7日	発表会
	12日	餅つき交流会
	20日	クリスマス会
	25日	交通教室
1月	9日	餅やき
	18日	初釜
2月	3日	節分
	8日	未満児保育参加・以上児保育参
3月	3日	おひなまつり
	6日	お別れ遠足
	14日	令和2年度入園説明会
	16日	花園小学校連絡会

	21日	卒園式
	24日	かすぺる人形劇観覧（白雪姫とゆかいな七人の小人たち）

※毎月英語教室（3・4・5才児）

※〃 体育教室（4・5才児）

※5月～1月茶の湯（5才児）

（4）地域連携

地域との関わりの状況

実施月	地域との関わり
4月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
5月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
6月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
7月	子育て支援開催
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
8月	心療病院合同盆踊り
	子育て支援（親子人形劇観覧）
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
9月	子育て支援開催
	鶴城中学校より3名体験実習
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問
10月	運動会リハーサルにぬくもり・ひまわりホームの方をお招きする
	子育て支援開催
	照古苑祭へ年長児参観（運動会で踊った曲を披露）
	心療病院文化祭に出演
11月	県立小川工業高等学校（情報電子課）インターンシップ
	子育て支援開催（ふれあい動物園）
	発表会リハーサルにぬくもり・ひまわりさんご招待
12月	子育て支援開催
	餅つき 地域老人会ご招待
1月	子育て支援
	ぬくもり・ひまわりホームの方初釜のリハーサルにご招待（インフルエンザ流行のため参加者なし）
2月	子育て支援（コロナウイルス感染症対策のため中止）
	ぬくもり・ひまわり訪問（コロナウイルス感染症対策のため中止）

3月	子育て支援（中止）
	ぬくもり・ひまわりホーム訪問（中止）

(5) 災害対策

避難訓練の状況

実施月	避難訓練		
4月	災害時の説明・ベルの音実施	10月	火災避難訓練・消防訓練（通報・消火）
5月	火災避難訓練	11月	地震・火災避難訓練
6月	火災避難訓練・不審者訓練	12月	火災避難訓練
7月	地震避難訓練	1月	火災避難訓練
8月	火災避難訓練	2月	地震避難訓練
9月	地震避難訓練	3月	地震・津波避難訓練

(6) 人材育成

職員個人のスキルアップ及び保育園全体の組織力向上等を目的として、園内研修を実施するとともに、各種園外での研修に積極的に参加しました。

① 園内研修の状況

実施月	研修名	参加人数
毎月	運営委員会	各10名
年3回	総括 ・ 課題を持つ子どもについて	各クラス
年10回	新規採用保育士指導（主任保育士）	1名
年6回（5月～11月）	福岡コダーイ芸術教育研究所より来園 講師 川内先生勉強会（以上児・未満児別）	各8名 ～12名
6月	福岡市 春日セミナー報告会	9名
7月	宇城消防署員より救急蘇生法を受講（2班） 福岡コダーイ教育研究所報告会 不審者対応訓練	25名 9名 15名
8月	不審者対応訓練 幼保小中連絡セミナー報告会	15名
9月	各クラス毎気になる子・各年齢の遊びについて さすまた訓練（さすまたの使い方・自己防衛）	各7名 12名
10月	のぞみ保育園公開保育報告	12名
11月	児童虐待防止研修会報告	12名
1月	コダーイ園長主任研修会、たんぽぽ保育園ビデオ公開結果報告	9名
3月	全職員 ・ 保育課程・危機管理マニュアル	29名

② 園外研修の状況

実施月	研修名	参加人数
年5回	宇土市保育連盟年齢別研修会 (園長・主任・給食・年齢別リーダー各6名(3回)) 宇土市保育連盟全体研修会(2回)	9名 26名
年6回	福岡芸術教育研究所 園長・主任研修会	2名
年3回	熊本県社会福祉協議会主催研修会	2名
年4回	熊本県保育協会主催研修会	3名
年7回	熊本県保育協議会	5名
年32回	熊本県(総合健康推進財団)キャリアアップ研修 ・乳児保育 ・保健衛 ・障害児保育 ・食育アレルギー対応 ・保育実践 ・保護者支援 ・マネジメント	10名
4月	新規採用保育士研修(熊本県・熊本県教育委員会主催)	1名
5月 ~2月	〃 新人研修(主任保育士より指導)10回	1名
6月	福岡市 春日セミナー研修6/1~6/2 幼保小連携会議	3名 2名
7月 2月	幼保小コーディネーター会議	1名
8月	園長等管理者研修会 宇城管内幼保小中連携セミナー	1名 1名
10月	のぞみ保育園公開保育見学研修 児童虐待防止研修	1名 1名
11月	感染症予防研修会 民間児童館ネットワーク九州・四国ブロック研修	1名 2名
1月	熊本県保育研究大会	2名

(7) 短時間保育及び延長保育

① 短時間保育の状況

- ・保護者の短時間就労
- ・短時間保育 午前9時~17時の預かり
- ・令和元年度短時間保育利用者数総数 … 1,831名(前年度710名)

(8) 延長保育の状況

- ・開所時間 午前7時~午後7時
- ・保育時間 午前7時~午後6時
- ・延長保育 午後6時~午後7時
- ・令和元年度延長保育利用者総数 … 1,173名(前年度2,351名)

2 五色山学童クラブ

(1) 学童クラブの運営

① 定員 50人

② 学年別・月別利用児童数

(各月初日現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1年生	16	16	16	16	15	14	14	14	14	14	14	14	177
2年生	11	11	10	10	10	10	10	10	11	10	10	10	123
3年生	12	11	11	10	10	10	9	9	9	9	9	9	118
4年生	3	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
5年生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
6年生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	42	41	37	36	35	34	33	33	34	33	33	33	424

(2) 職員

指導員数

年度	4月1日時点		3月31日時点	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
令和元年度	—	4人	—	3人
平成30年度	—	4人	—	4人
平成29年度	—	4人	—	4人
平成28年度	—	4人	—	4人
平成27年度	—	4人	—	4人

(3) 行事等の開催

① 主な行事等の開催状況

実施年月日	行事・遊び
4月	6日 入所式
	20日 お見知り遠足 (授業参観と重なったので不参加)
7月	18日 夏休み前保護者会懇談会
	24日 民生委員さんとの交流会
8月	8日 ぱれっと人形劇観覧 (花咲かじいさん)
	9日 心療病院合同盆踊り
	19日 産交バスより・お楽しみビンゴ大会
	20日 絵手紙教室
10月	5日 たんぽぽ保育園運動会に参加
	28日 ハロウィンパーティー
12月	26日 クリスマス会・読み聞かせ

1月	6日	退所式松山神社初詣
3月	13日	学童入所説明会
	24日	かすぺる人形劇観覧（白雪姫とゆかいな七人の小人たち）
	26日	お別れ会（カレー会）

② その他の行事

ボランティアの方の読み聞かせ

4月・5月・6月・7月

火災避難訓練	8月（1回）
英語教室	4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月
茶の湯	6月・7月・8月・9月・10月・11月・12月・2月・3月